

□議員名：濱本健吾

1 山陽小野田市立山口東京理科大学の厚狭キャンパスにおける医療系学科構  
想について

論点	「医療技術職の不足が深刻化」とあるが、なぜ看護師ではなく学科選定に作業療法士、理学療法士、臨床工学技士を選択したのか。
回答	既存の工学部、薬学部の資源の活用という観点もある。協議した結果、親和性の高いものを学科として設置することがよいのではないかとといったところも一因である。

論点	過去の理科大の市が予算を使って整備したものの多くは、市債及び一般財源から出されている。今回も市債及び一般財源から出す予定か。
回答	現在、内容について、一番有利な財源になるように慎重に検討、調査を進めている。

論点	厚狭キャンパス構想は大学からの提案によるものなのか、あるいは市が主導して進めてきたものなのか。
回答	山口東京理科大学の業務運営は、市が策定し、大学に示していて、中期目標として教育研究組織の見直しに関する目標を掲げている。市と大学が緊密に連携して、共同で検討を進めている。

2 中学部活動の地域展開における課題と方針について

論点	少子化の影響で大会に出られないと思われる部活はほとんどないように感じるが、生徒からアンケートを取ったのか。
回答	個別に生徒からアンケートを取っていない。少子化の影響がひしひしと進んでくることで、学校によってはクラブ活動そのものが成り立っていない事態も想定されているため、今から進める必要がある。

論点	地域展開を進めることによるメリットとデメリットをどのように整理し、今後どのような方針で課題解決を図っていくのか。
----	--

回答	部活動の地域展開を実施する理由は、急激な少子化の進行があること、また、教員の長時間勤務の解消に向けた学校の働き方改革を進める必要があることである。市としては、生徒が将来にわたり、スポーツや文化芸術に親しむ機会を確保するため、部活動の地域展開の取組を進めている。
----	--